



# 8月の予定だより

令和6年7月31日 高江こども園

プール遊びやどろんこ遊び、虫とりなど、夏ならではの遊びを満喫している子どもたち。たくさん体を動かした後は、モリモリご飯を食べて、しっかりと睡眠をとっています。暑いと体力が落ちて、食欲がわからないことや、つい冷たい物ばかりを食べてしまうことがあります。意識して温かい物もとれるといいですね。

## ★8月行事予定★

日	月	火	水	木	金	土
				1 交通教室 身体測定 プール	2 英語教室 (🐼～🐘)	3
4	5 サッカー	6 体操教室 (プール)	7 7月8月9月 生まれ誕生会	8	9 プール	10 高江夏祭り (17:10 集合)
11 山の日	12 振替休日	13	14	15	16	17
18	19 サッカー	20 食育の日	21 体操教室 (プール最終日)	22 英語教室 (🐼～🐘)	23 避難訓練	24
25	26	27	28	29	30	31




21日(水)は、プール最終日です。

見学にお越しくください。(この日以外でも大丈夫です。)

りす・ひよこ組	9:50～10:05
うさぎ組	9:50～10:10 (体操教室時間)
ぱんだ組	10:00～10:30 (9:30～10:00)
きりん組	10:00～10:30 (10:00～10:40)
ぞう組	10:00～10:30 (10:40～11:30)

上記の時間は予定時間です。体操教室時は、時間が異なりますので、見学に来られる際は登園時に職員までお知らせくださいね。





# 8がつうまれのおともだち

きりん組 はくとくん  
うさぎ組 こうがくん  
うさぎ組 とうりくん

※お誕生会は8月、9月生まれのお友だちと一緒に8月に行います。  
出し物の当番は、ぞう組です。



## 熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。日射病は、戸外で強い直射日光にさらされることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。



### 熱中症の症状

日射病…顔は赤く、呼吸が荒くなります。皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気などを伴います。  
熱射病…顔は青白く、大量の汗をかきます。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴います。

### なぜ子どもは熱中症になりやすい？

子どもは体温調節がうまくできず、温度変化の影響を受けやすい、また衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかかりやすいのです。

### 車や家の中でも熱中症になります

特に車中では、気温が高くなくても高温になるので、子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。

### 予防のポイント

- 日中は帽子をかぶって外出をしましょう。日除けのあるベビーカーも照り返しで暑くなるので、散歩はできるだけ短時間で切り上げましょう。
- 炎天下での遊びは、長時間に及ばないように注意しましょう。海や屋外プールなどの水辺でも、30分毎に日陰で休息をとるようにしましょう。
- 肩まで隠れる、吸湿性、吸水性に優れた衣服を選びましょう。
- 水分補給は、電解質の入っている経口補水液などの飲み物を与えましょう。



連日、ニュース等で川やプールでの事故が報道されています。海や川、プールに行くときには必ず、保護者の方も一緒に行きましょう。

また、海や川では急に深くなる箇所もありますので、事故やけがないように気を付けて遊びましょう。

## 終戦記念日

- \* 8月15日は「終戦記念日」です。今の日本の平和は、多くの尊い命のおかげで成り立っています。犠牲になった方々に対し、弔意を表する日でもあります。子どもたちの未来を守るため、戦争と平和について考えるきっかけにしましょう。

**夏かぜ** 大人の夏かぜは症状が穏やかな場合が多いのですが、子どもの場合は症状が重くなる場合があります。プールを介して感染することが多い「プール熱」や、口内炎のできる「ヘルパンギーナ」、手・足・口に水ぼうがができる「手足口病」などは、子どもがかかりやすいウイルス性の夏かぜの代表格で、症状の変化に注意が必要です。高熱が出て嘔吐などが見られる時は、医療機関を受診しましょう。予防法は、冬場とあまり変わりません。部屋の乾燥を防ぎ、手洗いをしっかり行い、ビタミンCをしっかりとって規則正しい生活を心がけましょう。